

# 議会運営委員会

平成29年9月21日午前9時から委員会室で開かれた。

## 1. 出席委員

◎木澤 正男	○小村 尚己	小林 誠
平川 理恵	嶋田 善行	中西 和夫
奥村 容子		
伴 議長		

## 2. 理事者出席者

総務部長 面巻 昭男

## 3. 会議の書記

議会事務局長 真弓 啓      同局長補佐 大塚 美季

## 4. 審査事項

別紙のとおり

開会（午前9時00分）

署名委員 小村委員、小林委員

委員長

おはようございます。

それでは、全委員出席されておりますので、ただいまから議会運営委員会を開会し、本日の会議を開きます。

最初に、本委員会の会議録署名委員を私から指名いたします。

会議録署名委員に、小村委員、小林委員のお2二人を指名いたします。お2人には、よろしく願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配布していますレジメのとおりでございます。レジメに沿って進めていきたいと思っております。

初めに、1. 協議事項の（1）平成29年第4回斑鳩町議会定例会についてを議題といたします。

①付議議案の取扱いにつきまして、お手元の委員会付託議案の審査結果をごらんいただきたいと思っております。

各常任委員会・特別委員会に付託されました14議案のうち、認定第2号 平成28年度斑鳩町一般会計歳入歳出決算の認定について及び認定第6号 平成28年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についての2議案については、賛否の討論があり、賛成多数で認定すべきものと決しております。他の12議案は、いずれも満場一致で可決・認定すべきものとされております。

いずれの議案につきましても、最終日の本会議で採決となりますが、ここで、討論の有無について確認させていただきたいと思っております。

ただいま申しあげました議案のうちで、委員会で討論となりました認定第2号及び認定第6号につきましては最終日の本会議で討論になると思っておりますが、このほかの議案で、討論等を予定されている議案、あるいはまた、討論の予定があるとお聞きになっている議案がありましたら、議長次第にもかかわってまいりますので、あらかじめお聞かせいただけたらと思っておりますが、ございませんでしょうか。

（ な し ）

委員長        それでは、現在のところ、認定第2号、認定第6号以外には討論の予定はないということで確認をしておきます。

                なお、本会議における討論につきましては、これまでの例により、賛否の討論者をそれぞれ1名ずつとすることで確認しておきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

                ( 異議なし )

委員長        異議なしと認めます。賛否の討論は、各1名ずつということで確認をしておきます。

                ①付議議案の取扱いについては、以上で終わります。

                次に、②要望書等の取扱いについてを議題といたします。

                これまでに1件の文書をお受けしております。この取り扱いについて、ご協議いただきたいと思えます。

                まず初めに、この文書を受けた経緯などについて、簡単に事務局から説明をお願いします。 真弓議会事務局長。

議会事務局長    平成30年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願いについてでございますが、公益社団法人日本理科教育振興協会会長から郵送されてきたもので、9月4日に受け付けをしたものでございます。

                内容といたしましては、昨年とほぼ同じ内容で、小・中・高等学校の理科教育の実態について教育委員会に確認し、理科教育環境整備向上のため、積極的な予算措置を求めるものでございます。以上でございます。

委員長        ただいま議会事務局長から説明がありましたが、この文書の取り扱いについて、委員皆様のご意見をお受けいたします。 嶋田委員。

嶋田委員        これは毎年来ているもので、一番最初に来たときかな、付託されまして、一応、教育委員会のほうから、斑鳩町においてはここに書かれてい

るようなことはない。それで、もしか器具等の不足があれば予算措置を講じて補充しているというふうな返答をいただいて、それ以来ですねんけれども、これはもう、現場からの声も聞こえていませんのでね、配布にとどめておいていいのではないかなと思います。

委員長 ほかにご意見ございませんか。

( な し )

委員長 それでしたら、今、嶋田委員から意見がありましたように、配布にとどめるということで確認しておきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

( 異議なし )

委員長 それでは、ただいま議題となっています文書につきましては、各議員に配布にとどめるということで確認をしておきます。

②の要望書等の取扱いについては、以上で終わります。

次に、③追加日程についてを議題といたします。

お手元の追加日程表をごらんいただきたいと思います。追加日程 1. 発議第 8 号 斑鳩町議会議員の行政視察等派遣に関する要綱の一部を改正する要綱についてですが、8月25日開催の当委員会で改正案を確認、初日の全員協議会で報告し、特段のご意見もありませんでしたので、本要綱を改正することとし、当委員会の発議をもって提出したいと思いますが、ご異議ございませんか。

( 異議なし )

委員長 異議なしと認めます。よって、発議第 8 号につきましては、議会運営委員会の委員会発議をもって提出いたします。

次に、追加日程 2. 研修会の参加派遣についてですが、8月25日開

催の議会運営委員会で議会事務局長より報告がありました奈良県町村議会議長会開催の新任議員研修及び全議員研修、また、生駒郡町村議会議長会開催の議員研修会について、開催通知が届きましたので、追加日程として参加派遣計画書をあげるものです。

現在までに追加提案を予定されているものはこの2件ですが、このほかに、提案等を予定されているもの、あるいはまた、提案等の予定があるとお聞きになっているものはございませんでしょうか。

( な し )

委員長 それでは、議員提案の予定は現時点ではないものということで確認をしておきます。

追加日程として予定されているものは以上ですが、これまでのところで、質疑、ご意見があれば、お受けいたします。特にございませんか。

( な し )

委員長 それでは、最終日の議事運営については以上のように進めさせていただきますので、議長には、進行方、よろしく願いいたします。

それでは、(1)平成29年第4回斑鳩町議会定例会については、以上で終わります。

次に、(2)次期定例会の日程についてを議題といたします。

皆さんのお手元にお配りしています日程案について、事務局から説明をお願いいたします。 真弓議会事務局長。

議会事務局長 それでは、次期定例会の日程案につきまして、ご説明させていただきます。

お手元の平成29年第5回斑鳩町議会定例会日程表(案)をごらんください。12月1日金曜日を初日とし、12月19日火曜日を最終日とする、会期19日間の案をお示ししております。

まず、12月1日金曜日を初日とし、本会議終了後に広報発行常任委

員会を開催、12月2日から5日は休会、6日水曜日、7日木曜日を一般質問とし、8日金曜日は建設水道常任委員会、9日、10日は休会、11日月曜日に厚生常任委員会、12日火曜日は休会、13日水曜日は総務常任委員会、14日木曜日は議会運営委員会、15日金曜日から18日月曜日までは休会とし、19日火曜日を最終日とする、会期19日の案でございます。以上でございます。

委員長 ただいま事務局長から説明のありましたことについて、質疑、ご意見等があれば、お受けいたします。ございませんか。よろしいですか。・

( な し )

委員長 それでは、12月定例会の日程は、お手元の日程表の案のとおり予定をしておくということで委員会として確認しておきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

( 異議なし )

委員長 異議なしと認めます。12月定例会の日程につきましては、予定ということで確認をしておきます。

次に、(3)今年度の検討事項についてを議題といたします。

①の議会の運営にかかわることについてですが、前回の当委員会で、一般質問を常任委員会の後にした場合の日程案の作成を事務局にお願いしていましたが、その状況について、議会事務局長から報告をお願いいたします。 真弓議会事務局長。

議会事務局長 前回の議会運営委員会でご提案のありました一般質問を各常任委員会の後に持ってくる日程案についてでございますけれども、おっしゃるような形での日程案を作成し、現在、理事者側との調整を行っておりますことから、もう少しお時間をいただきたいと思いますと考えております。

次回の議会運営委員会には日程案をお示しすることができるようにし

ますので、どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

委員長　　今回、間に合えば資料として提出をさせていただいて、引き続き議論をさせていただこうと思っていたんですけども、理事者のほうの都合もありまして、今、調整中ということでございます。

ですので、次回の議会運営委員会に提出をさせていただいて、改めてそのときに議論をさせていただこうかなというふうに思いますが、何かご意見、質疑等がございましたら、お受けしたいと思っております。

平川委員。

平川委員　　今、作成していただいているのは、予算とか決算があるときを含めての日程を検討していただいているんですか。

議会事務局長　　以前の議運のときに、来年の3月議会を一応想定してひとつ組んでみようということでしたので、3月の分ですから、予算が入った状況のスケジュール案になります。

委員長　　嶋田委員。

嶋田委員　　これは、ホームページにね、通知の内容を載せるということで始まったことだと思うんですけども、載せて、しばらく周知期間を置いて一般質問をしたらどうかということから始まったように思うんですけども、これ、9月に一応、通告内容をホームページに掲載されましたわね。それで、町民の方から何か、反応いうんですか、メールやとかそういうふうなのはあるんですか。

議会事務局長　　特にお問い合わせ等はありませんでした。

委員長　　最初に報告させていただいたのは、一般質問を後に持ってくる日程の組みかえというのかな、そういうやり方についてのということですけども、それ以外にも、前回、今回の9月議会からですね、一般質問の通告

についてはホームページで掲載をすると。それで、その日程をどうしようっていうのはまだ、これから議論していきますけども、今できる形でやっていこうということで掲載をさせていただいております。そのことも含めてですね、ご意見もいただければと思います。

また、今、嶋田委員おっしゃったような住民の皆さんからの反応がね、あるようでしたら、そんなのもお聞かせいただければなと思いますけど。特に今の段階ではございませんか。

じゃあ、あれば、どうぞ。 小林委員。

小林委員 やっぱり若い人たちからですね、各議員さんがそういうふうに斑鳩町でこうなりましたっていうことを周知されることによって、斑鳩町ではこういうことをしてはるんだ、こういう議員さんがこういう質問をされているんだっていう、フェイスブック上でとかですね、いろいろな若い人たちからは、ああ、議会ってこういうふうになっているんですねっていう、何か新たな関心が生まれて、そういう感想もいただいていますので、決して無駄にはなっていないのかなというふうに思います。

委員長 嶋田委員。

嶋田委員 無駄やとかそういう話やなしにね、変えたことによってどういう反応があったかということをお聞きしたいわけですね。

委員長 ほかにございませんか。

( な し )

委員長 そうしましたら、次に、資料の提出時期について、これは理事者のほうにお願いをしていましたけども、その状況について、総務部長のほうから報告いただきたいと思います。 面巻総務部長。

総務部長 資料の提出時期につきましては、現在、西和6町、斑鳩を除く西和6



町に調査をかけている段階ですので、今の時点では、ちょっと取りまとめのほうはできておりませんので、申しわけございませんが、次の議運までには調製したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員長

はい、わかりました。

こちらのほうについても、前回ですね、予算・決算の資料について、よその町見せていただくと、もっと斑鳩町よりも早く出ているという状況もあって、斑鳩町としてもそういうことを検討できないかということで総務部長のほうにお願いをしていましたけども、現段階でまだ調査中だということとして、次回の委員会には一定の方向性を示してお返事をいただけるということですが、このことについても、今回ですね、何かお聞きになりたいこと等がありましたら、お受けしたいと思います。 嶋田委員。

嶋田委員

その調査されるについてですね、初日がいつなのか、斑鳩の場合は毎回1日、大体1日なんですけれども、初日がいつで期間がいつなのか、そういうふうなこともちょっとあわせて調べておいていただけますか。

委員長

嶋田委員、前回ね、資料として出させていただいたものの中に、西和7町の各議会の日程についても事務局のほうで取りまとめているんです。そこに載っていますので、これも参考にご質問いただければと思います。

ほかにご意見ございませんか。

( な し )

委員長

そうしましたら、また次回の委員会で、一定、資料等についても提出をさせていただきたいと思っておりますので、今回については、この①のところですね、一定のご意見もいただいて検討したということで終わっておきたいと思っておりますが、よろしいですか。

( 異議なし )

委員長 そうしましたら、①議会の運営にかかわることについては、これで終わります。

総務部長のほうから、ほかにご報告いただくことはございませんか。

( な し )

委員長 それでは、総務部長には他の公務もございますので、ここで退席していただくことといたします。

どうもお疲れさまでした。

暫時休憩します。

( 午前9時17分 休憩 )

( 午前9時18分 再開 )

委員長 それでは、再開いたします。

次に、②災害時における議会の対応についてですが、こちらのほうについては、前回の当委員会で、小村副委員長を中心とした作業部会で災害時の対応についての大枠、たたき台についてご検討いただくようお願いをしておりましたが、現在の状況について、ご報告をお願いできますでしょうか。 小村委員。

小村委員 10月の末ごろに一度作業部会を開催して、11月の議運のほうで大枠のたたき台みたいなものを出させていただこうかなというふうな、今、日程というか、そういう状況でございます。

委員長 ありがとうございます。

ただいまご報告いただきましたとおり、今後進めていただく予定にしてくださっているということで、次回の議会運営委員会にその内容をご

報告いただけるということの状況ということで報告いただきました。

状況としては、今、作業部会としてそのように進めていただいていますけども、災害時における議会の対応について、このほかにですね、何かご意見等があればお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。特にございませんか。

( な し )

委員長 それでは、②の災害時における議会の対応については、これで終わります。

次に、③議長交際費の基準の策定についてということで、前回ですね、委員皆さんからいろいろご意見出していただいたんですけども、なかなか方向性が定まらないということで、改めて今回、またご意見をお聞きして、議論を進めていく中で一定の方向性を見出していったらなというふうに思っておりますが、今回ですね、また前回の議論に引き続いて皆さんのご意見をお聞きしていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

伴議長。

議長 この間の議運から以降に1つ、シニアのソフトボールの全国大会出場という、北海道行かれるいうのがありまして、そして、そのときに、ちょっと試しでっちゅうたらあれですねんけど、前、激励文でもどうでっかっちゅうような話を、ちょっとこの間の委員会で、金銭がもし難しかったらと。いや、もうそれやったら結構ですわというような、激励文は別に要りまへんというような話がありましたので、多分ほかでも同じような形なって。

私の意見とすれば、細かく本当に基準決めるのか、それか今までのような形っちゅうか、ざっくりした形でいくのか、その辺を議論していただくしかないんちゃうのかなと私はちょっと思っているような次第でございます。

委員長 前回、以前からですね、お金として賛助金をいただければという話と、

いやいや、そういうのじゃなくて、やっぱり激励に来てもらいたいんだってという声もありましたけども、改めて、その後ですね、全国大会に出場される団体からは、別にそれやったらええということでしたので。

今、議長から出していただいたご意見も踏まえてですね、改めて議論していきたいと思えますけども、いかがでしょうか。

これまで意見をお聞きした中で、よその議会で、もう町のほうから出すから議会は出しませんよというふうにもう基準で決めてしまっているというところもあって、資料として出していただいていますけども、委員皆さんの意見をお聞きすると、議会からは出さないということについてはちょっと抵抗があるという意見多かったですけど、ここはいかがでしょうかね。そういう選択肢もありますけども、議会としてはもう出さないという選択をすることについて、私はそれでもいいよという方がどれぐらいおられるのか。これを先にお聞きしておく、また議論進めていくのにね、方向性、ちょっと絞りやすいかなと思うんですけど。

嶋田委員。

嶋田委員 それもありかなとは思いますが、住民の方の捉まえ方としてね、議会何しとんねんという感想を持たれるおそれもありますのでね、これはもうケースバイケース、1本道、ある道筋をつけるんやなしに、もうケースバイケースでいいんやないかなというふうな感じです。

せやから、議会からは出さないというのは、僕はちょっと抵抗があるように思います。

委員長 ちょっと、そうしたら順番にご意見お聞きしてもいいですか。この出さないってことを決めることに対してだけ、まず。

それなら順番に、じゃあ。 中西委員。

中西委員 今、嶋田委員言われたように、やっぱり出さんわけにはいかへんかなっていうふうに考えております。ただ、どういう形で出していくか。もう全部出していくようになっていったら、もう本当、その交際費の関係ってというのはごちゃごちゃになっていくから、その辺をどういう形で絞

っていくかですよ。

委員長 小林委員。

小林委員 私も、出さないわけにはいかないのかなと思っています。ただ、出す、出さないにしても、どういう大会まで出すのかっていうのは、ちょっと細かく決めなければいけないのかなというふうに思っております。

委員長 平川委員。

平川委員 私も同じです。やっぱり職員の方が課長会とか部長会でポケットマネーまで出しているのに、議会は1銭も出さへんのかってところが。私たち、やっぱりポケットマネー出したいけど出せないってところもあるので、それは何か、何らか。

ただ、その基準をきちっとつくるのがいいことなのかどうなのかっていうと、ちょっとなかなか難しいかなと思います。

委員長 奥村委員。

奥村委員 今、議長おっしゃったように、何か、メッセージっていうのか、そういう言葉の激励はいいのでって、実質を求めておられるんやったら、それはそれでね、そういう形がいいのかもわからへんけど、先ほど中西委員おっしゃったように、どこまで出していくのかっていう、それ、また、額っていうことなんですけど、その辺だけ、はい。

委員長 ごめんなさい、ちょっとマイクがね、入りにくいので、できたらもうちょっと大きい声で発言していただくとありがたいんですけど。

小村委員、いかがですか。

小村委員 僕も嶋田委員と同じ意見でして、出す方向性でっていうところなんですけど、基準を決めるっていうのはなかなか難しいのかなっていうのが

正直なところで、ケースバイケースでそのときの皆さんの判断を仰ぐっていう形がいいのかな。例えば全国大会レベル以上って決めたとしても、スポーツによっては、例えばもう奈良県でチーム、2チームしかないようになっていうところがあったりだとか、そういったことになると、どうやって線引きをすればいいのかっていうのは非常に難しいなっていうふうな、僕は、感想を持っていますので、そういう意見で、ケースバイケースでそのときに、申請があったときに話し合ったらいいのかなっていうことを思っています。以上です。

委員長

そうしますと、議会として、町が出しているから議会は出さないんだってということについては、皆さんもやっぱり抵抗があるということですので、資料として出していただいた中にありましたけども、それについてはもう選択肢としてはないということで確認させていただこうかなと思いますけど、いいですかね。

( 異議なし )

委員長

そうしたら、ケースバイケースというご意見多かったですけども、一応出せる方向で、その基準をどうしていくのかということですね。だから、項目として、出すことができる、賛助金ね、いう形で、それも細かく、全国大会以上とかいうふうにするのか、しないのか。それか、もうこの要綱自体まとめてしまうのではなくて、今までみたいな形で、必要に応じて全員協議会等で協議させていただいて出していくと、これについても別に違法でもなんでもありませんので、そういうやり方をするのがいいのか、そこら辺ですね、について、改めてご意見お聞きしていければなと思うんですけども。

以前出していただいた資料ではですね、奈良市議会さんだと、支出の区分として、賛助と。賛助の必要性があると判断されるものへの賛助金として、支出限度額3万円と金額も決めてはるわけですね。そうしたら、金額をどうするのかっていうのと、あと、出す基準ですね。基準については奈良市議会さんは書いてはりませんが、出すことができるとい

うことだけは項目としてあげているということですね。だから、これはもう金額を決めないでその項目だけ設置しておく、設定しておくということもできますので。ですので、支出の根拠ですね、このように基準として定めておくという手法と、もうそれもしないというのと、いろいろあるとは思いますが。

当然、つくった基準については、ホームページで公表する云々は別にしても、公開になりますから、住民の皆さんの目に触れるようなことになっていくと思います。

嶋田委員。

嶋田委員 参考までに、ちょっと局長にお伺いしたいのは、部長会やとか課長会では出さるというのは、これは相手さんに斑鳩町部長会とか斑鳩町課長会という名目で渡してはるわけですか。これ、結局、何で部長会や課長会が渡してはるのか。僕、そこらへん、ちょっとわからへんので。

委員長 真弓議会事務局長。

議会事務局長 実際、ちょっとそのお渡しされる場にいたりいなかったりですので、ちょっと実態的に、ご説明されているのかどうかというの、ちょっとわからないところはあるんです。私の記憶している範囲では、斑鳩町というような袋で、もう全てがっちゃんこにして渡しているときの記憶はあるんですけども、口頭で説明がそういうふうになされているのか、なされていないのかというのは、ちょっと不明確なところが。明確にそういうのが、ここから出ていますよってというのが、説明があるのか、ちょっとわかりかねるところはございます。

嶋田委員 要は、部長会、課長会というのは、親睦団体なんですか、それとも町の組織の中の1つなんですか。

議会事務局長 親睦団体ではないんですけども、組織っていうわけでもありません。任意のものであります。

委員長

暫時休憩します。

( 午前9時31分 休憩 )

( 午前9時42分 再開 )

委員長

再開いたします。

嶋田委員。

嶋田委員

支出に関して、各項目に分かれると思うんですけども、前回提示していただいた資料を参考にしてですね、どういう項目がいいのか、そこら辺、ちょっと精査していったらどうかと思います。

委員長

ただいま嶋田委員から、項目を整理して、基準を作成する方向ですね、議論進めていったらどうかというご意見いただきましたけども、その方向でよろしいですか。

あと、金額は抜きの方でいいですかね。項目を整理していくっていうことで。

( 異議なし )

委員長

はい、わかりました。

そうしましたら、以前出していた資料を参考に、どういう項目にしていくのかっていうことで絞って議論進めさせていただきたいと思います。

まず、3市町ですね、で共通しているものだけちょっとピックアップしたいなと思うんですけども、1つは会費ですね。次が慶祝、それで弔慰と見舞いですね。これ、協賛と激励っていうのは一緒になるのかなと思いますし、奈良市さんで言うと賛助に当たる、これがそれに当たるかなというふうに思うんですけど、だから、項目としては、賛助ということで一本化するのか。あと、区分の名目は皆さんからいただければいい



と思いますけど、項目としてはそれで1つですね。あとは、懇談が共通しているかなと思います。それと、その他ですね、この項目にないときはどういう扱いをするのかということと言うと、7項目ぐらいにまとめられるかなというように思うんですけども。 嶋田委員。

嶋田委員 これ、7項目、それはそれでええけど、この慶祝、弔慰、見舞い、これを慶弔及び見舞いで1つにまとめたらどうかかと。

委員長 そういうやり方もありやと思いますので、そういうことも含めてご意見いただければと思いますけど。 平川委員。

平川委員 この、議長賞だったり広告料っていうのは、今までこういうの、出すような議論だったりとか、実績とかってあるんですか。

委員長 真弓議会事務局長。

議会事務局 広告のほうは、もう今現在は、実績としてはないです。以前にありましたけど、今、郡のほうで出している状況でございます。

議長賞、金銭ではなかったです。賞状で議長賞を書いておられたりとかいう団体さんからのご依頼っていうのはありますけれども、金銭的にはないです。

委員長 ちょっと今すぐわかるかどうかわかりませんが、今言うた7つの項目から漏れるような支出の実績っていうのは、直近では、議長交際費の中であるんですか。

議会事務局 直近では、ございません。

局長

委員長 そうしましたら、7項目にするのか、さらにまとめていくのかは意見いただきたいと思いますが、直近の議長交際費の支出の中では、今言うた基準で大体運用していけるのかなというふうに思います。

嶋田委員から出していただいた、慶弔と弔慰と見舞いってというのは1つにできるんじゃないかというご意見でしたけども、分けるほうがいいのか、くくっておくほうがいいのか、皆さんのほうでご意見ありましたら、お聞きしたいと思いますけど。 奥村委員。

奥村委員 おっしゃるとおり1つに、そこはくくってもいいのかなと思いますけど。

委員長 ほかの委員さん、いかがですか。いいですか。

( 異議なし )

委員長 じゃあ、ちょっとくくる方向で検討しようかなと思いますけども、そうするとき、項目としてはどういう名目でまとめるかですね。  
暫時休憩します。

( 午前9時49分 休憩 )

( 午前9時55分 再開 )

委員長 再開いたします。  
嶋田委員。

嶋田委員 項目としてはね、まず、会費、そして慶弔及び見舞い、協賛または激励、そしてその他、そういうふうな形でどうですか。それで、なお、一応、支出内容は詳しく書いていただくという感じで。

委員長 今、嶋田委員からご提案ありましたけども、項目としては4つぐらいにまとめていってはどうかと。内容については、どういうものに使うのかっていうのはしっかり明記するということで整理していってはいかがかというご意見でしたけども。

それとですね、基準を決めるっていうのは、住民の皆さん等に、こう

いう基準で議長交際費使っていますよっていう根拠を示すもので、きちっと議会要覧の中にまとめていくという形で整理をしていこうというふうに思いますけども、よろしいですかね。

( 異議なし )

委員長      あと、趣旨とかですね、また、そのほかにも、よそのやつ見ますと、支出先がどうだとか、支出額については決めませんけども、社会通念上最低限、必要最小限の額にするとかいう、いろいろ文言が入っていたりしますけども、1回ですね、これらについてもちょっと整理してですね、こちらのほうで、一定、案をつくらせていただいて、次回の運営委員会的时候に提出させていただいて、それ見ていただいて改めてご意見いただこうかなというふうに思いますけども、そういう形でよろしいでしょうか。

( 異議なし )

委員長      そうしましたら、議長交際費については、基準を作成していくということで、改めまして、次回の委員会に、今回いただいた意見を反映してですね、委員長、副委員長のほうで整理をさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

そうしましたら、③の議長交際費の基準の策定については、以上で終わっておきます。

1の協議事項については、以上で終わります。

次に、2. その他について、各委員から質疑、ご意見等があれば、お受けいたします。ございませんか。

( な し )

委員長      ないようでしたら、私のほうから1点、議会運営委員会の先進地視察についてでございます。

現在のところ、希望するテーマのお申し出はいただいております。また、なおかつ、前回私のほうで提案させていただいた内容につきましては、今年度の検討事項とちょっとかみ合わないということで、もう白紙に戻させていただきました。

ですので、今回ですね、今年度については、もう議会運営委員会としては先進地視察は行わないこととしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

( 異議なし )

委員長 そうしましたら、今年度は、議会運営委員会の先進地視察は行わないことといたします。

そうしましたら、議長のほうから、何かございますか。

( な し )

委員長 事務局のほうは、ございますか。

( な し )

委員長 それでは、これをもって、その他について終わります。

それでは、継続審査について、お諮りいたします。お手元に配布してあります申出書のとおり、当委員会として引き続き調査を要するものとしてこのように決定することにご異議ございませんか。

( 異議なし )

異議なしと認めます。

委員長 議長におかれましては、継続審査の手続きをとっていただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日予定しておりました案件は全て終了いたします。

した。

なお、本日の委員長報告のまとめについては正副委員長にご一任いただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

( 異議なし )

委員長

異議なしと認めます。

それでは、これをもって本日の議会運営委員会を閉会いたします。

どうもお疲れさまでした。

(午前10時00分 閉会)